

せいい乳児院の窓から

第125号 2021年3月



2月12日に新乳児院に引っ越しました。1月は引っ越しの準備に追われ、2月は8日から10日の間で外部からの応援を頼みながら大量の荷物を移動し、慌ただしい時を過ごしました。11日まで古い建物で生活し、12日にいっせいに移動して新しい建物での生活を始めました。食事づくりや布団・衣類の準備など、不備がないように注意しながら段取りを立てました。移動は、職員が子ども17人を抱っこして、無事引っ越しました。

生活の場所が変わることによって子どもたちが不安を感じないように、気をつけて見守りました。引っ越し当初、子どもたちは明るく広く暖かいお部屋で、うれしくてはしゃいでいるように感じました。1日の生活の中で、一番大きく変わったのは寝る時です。これまでの一人用ベッドから、一人ひとり布団をしいて休みます。1室で一緒に休みますが、朝早くに起きた子が動き始めると、職員はその対応に追われます。大人の手が多く欲しいところです。新しい生活様式が落ち着くまでしばらく時間がかかると思いますが、大人より子どもたちの方が新しい環境になじむのが早いように思います。

現在、古い建物の取り壊し工事中です。長い間使ってきた建物に感謝です。跡地には9月に愛児園の4ホームが完成する予定です。
(院長 中村秀人)

・お正月・

元旦に着物を着て写真撮影をしました。おめかしして嬉しそうにしている子、慣れない着物に緊張気味な子もいましたが、良い思い出の1枚になりました。その後は、紙風船や巻き笛、でんでん太鼓などのお正月遊びを楽しみました。お昼は、栄養部さん特製のお重に入ったおせち料理を見て、「うしさん！」と大喜び。皆で美味しく頂きました。お正月の様々な風習に興味関心・好奇心がくすぐられた1日となりました。「今年も良い1年でありますように！」



・節分・

今年は124年ぶりに2月2日でしたね。子ども達は午前中に鬼の製作をしたり、昼食に栄養部さん特製の鬼カレーを食べ、午後には鬼の角・パンツを身に付け、自分達がかわいい鬼さんに変身！鬼のタペストリーに「おには～そと、ふくは～うち」と玉を投げて遊んでいると…院長先生扮する赤鬼が登場！！驚いて「キャア～」と泣いて逃げ回る子、職員にしがみついて様子をうかがう子と、様々でした。その後は、「おにさん、きたね～こわかったね～」とお話しながらおやつを頂き、ホッと一安心の子ども達でした。



・ひな祭り・

3月3日、女の子はかわいい洋服に着替えて、ひな壇の前で写真撮影をしました。どの子もおひな様には負けにくい可愛い姿でした。みんなで桜餅を食べてお祝いしました。



・食育活動・

1月29日、つばめ組の子ども達は、いつも美味しいごはんとおやつを作ってくれる栄養部さんと『のり巻き』を作りました。1人ひとり、好きな色のご飯と具材を選び、栄養部さんにのりの上に乗せてもらい、一緒に「まきまき♪」言いながら巻きました。長いのり巻きができると次は包丁でチョキン！1本が4個になったきれいな模様（具材）入りののり巻きを見て、目を輝かせた子ども達。自分で作ったのり巻きを大事に持って、皆で美味しく楽しく頂きました。子どもも大人もこのアットホームな食育活動が大好きです。次は何を作ろうかな～♪



泣いたり笑ったり

かもめ組 Sちゃん（9か月）

つかまり立ちが出来るようになったSちゃん。あっという間にどこにでもつかまって立ち上がり、嬉しそうにニコニコスマイルです。しばらくすると、助けを呼ぶように「ふえ～ん」と、泣きます。Sちゃんは、自分で立ちからお座りの練習中です。がんばってSちゃん！暖かくなったら、あんよでお散歩できるといいね。楽しみだね。

つばめ組 Sちゃん（2歳7か月）

お風呂を上げる時間になっても「Sちゃん、あがらん」と、言うくらいお風呂が大好きなSちゃん。最近のお気に入りはおパンマンのドキンちゃんです。Sちゃんの頭を洗っていると「ドキンちゃんする！」と、言うので、シャンプーをつけて髪の毛を立ててあげると、「Sちゃん、ドキンちゃん」と、言って大喜び！ご満悦なSちゃんでした。

つばめ組 Kくん（2歳7か月）

まだ上手にお話ができない1歳の時から、泣いている子がいると近付いて何か声を発していたKくん。それは上手にお話ができるようになった今でも変わらず、泣いている子がいると「どうしたの？大丈夫？」と声を掛けています。以前から友だちを心配して声を掛けていたんだと思うと、変わらないKくんの優しさを嬉しく思います。いつまでもその気持ちを忘れず、大きくなってね！

大人の思い -毎日をふり返って-

職員の「私の養育目標」1月のふり返りから、お伝えします。

使い慣れた古い乳児院から、新しい乳児院に引っ越しました。居室の床暖房や空調設備などで快適な生活を送っています。建物が新しくなって、子どもたちとの生活を新たに作っていく必要があります。試行錯誤を繰り返しながら、子どもたちのためになるように考えていきたいと思えます。

振り返りは、まだ古い建物での生活です。新しい建物でのふり返りは、4月になります。

- 職員間での知識の共有はふだんのちょっとした会話からも、子どもの日々の成長や大人の次の動きや声かけのヒントとなると感じる。楽しい保育時間を笑顔で過ごすことが多かった。
- 最近、〇〇君が甘えを出して来るようになった。いろんな人に抱っこされているが、〇〇君なりに大人を選んでいる。抱っこはして欲しいが、その人からミルクは飲まない。そんな〇〇君の受け止め方に迷っている。
- 職員と話をしている相手の思いが分かったり、考えに寄り添えたりする時には、エピソードや、自分の困りごとや気づきなどを話すが、相手の思いもよらない考え方（「そうじゃないよ」と思う時）に上手くアドバイスできず、どうしたらよいか難しい。
- オムツ交換、着替え、牛乳を飲む等、しないといけないことがある。「〇〇しよう」と声をかけても、「まだ」と言うこともあり、考えてみると遊びの途中はやめたくないと思った。「終わったら来てね」と声をかけて待つことにした。すると自分から来てくれることもあり、待つことが大事、もっとゆとりを持って関わろうと思った。



• 朝食介助の時、〇〇ちゃんがごはんが始まる前にエプロンを外して渡してきた。〇〇ちゃんはもうすぐ3歳ということもあり、又普段から食べるときに汚すことが少なかったので、無理やりつけることをせずに、「エプロン無くて大丈夫？」→「うん」→「お洋服汚れないように気をつけてね」→「うん」のやり取りで機嫌よく食べることができた。また服も汚さずに食べることができて、褒めて終われたので良かった。

• 今の（古い）建物での生活が残り少ないので、多少掃除のモチベーションが下がったが、感染予防のためにも、（新乳児院に）移る直前までできる限り清潔を保ち、新しい建物もきれいな状態を保てるよう努力したい。

乳児院改築 -建物と新事業-

新しい建物を紹介します。

★ かなりあ（新生児室）

乳児院の2階南半分は、子どもの居室エリアです。入り口には、マリア様が見守ってくださっています。



かなりあ室内は陽圧にして清潔な環境を保っています。ベッドは3台あります。沐浴槽と、製作してもらった沐浴後のベッドがあります。左の写真は、シスターがお世話中です。

★ ひばり（居室）



3室ある居室の1つです。床は柔らかく、床暖房が入り暖かく過ごせます。3室とも台所とトイレ、風呂があり、1件のお家のような作りで、4～6人の少人数で家庭のような生活環境を作っていきます。左の写真は、職員が台所で食事の準備をしています。

★ マリアルーム（プレイルーム）



マリアルームの入り口の壁の絵

マリアルームは居室の他に遊べるお部屋です。



★ これからも見守って下さる聖家族像

★ 職員室と職員室横のふくろう（副院長室）



職員室には、パドックという木で製作してもらった大テーブルを置きました。ケース記録作成や少人数のミーティングなどに活用しています。

ご支援ありがとうございました。

2020年12月1日から2021年3月5日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】

松山ひろみ 田邊孝子 島津幸子 川浦幸光・一美ご夫妻 笠原秀行
匿名の方3件 金沢友の会 武内豪
STYLER MISSIONSSCHWESTERN（故Sr.ニコメディアのドイツのご家族が所属されている教会の皆さんからの献金です）

【寄付物品】

第一生命労働組合金沢営業職支部 樋口日出夫 横浜幸銀信用組合
母子保健推進会議 JA 石川県女性組織協議会 ウロコ水産株式会社
丸果石川中央青果株式会社 石川中央魚市株式会社 金沢ニューグランドホテル
青森県りんご対策協議会 北新地区青森りんごの会



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-8551 金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

<https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>